

保証書 (持込修理)

品名:USBビデオコンバーター	
型番: AV-CUVDC	商品番号: 01-3491
お買い上げ日 年 月 日	
保証期間	お買い上げ日より1年間
お客様 ご住所 お名前 電話番号	(印)
販売店 所在地 店名 電話番号	(印)

(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます



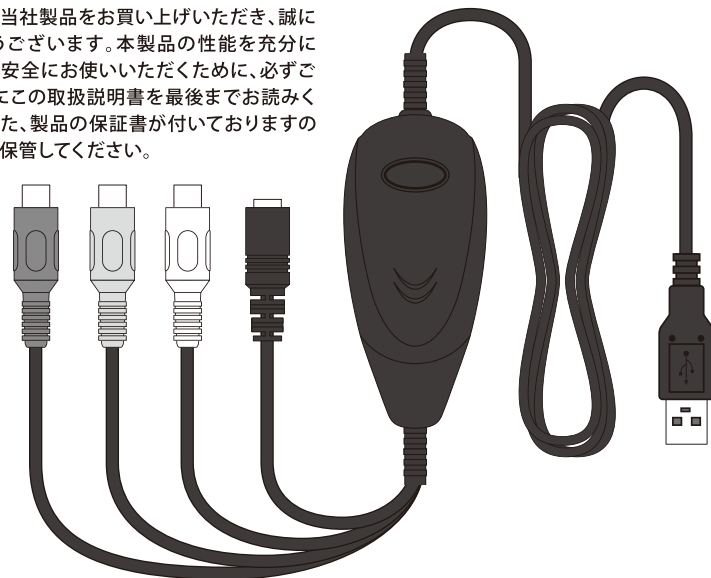
取扱説明書 保証書付き

商品番号:01-3491

USBビデオコンバーター AV-CUVDC

VHS/ベータ/8mmビデオの映像をデジタルに変換

この度は、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくために、必ずご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。また、製品の保証書が付いておりますので、大切に保管してください。



(切りとり線)

目次

安全上のご注意	1
梱包内容と主な仕様及びパソコンの動作環境	2
著作権及び使用上のご注意	3
ドライバのインストール	3~4
キャプチャソフトのインストール	4~6
本製品とビデオデッキなどとの接続	6
1本のビデオをデジタル化しDVD/ハードディスクに記録する	7~10
複数のビデオをデジタル化し、1つの映像データに統合する	11~13
1本に統合したデータにチャプタを付けて分ける	13~14
不要な部分をカット(トリミング)する	15
編集中のプロジェクトの保存について	16
故障かなと思ったら	17
無料修理規定・保証書	18~19

安全上のご注意 必ずお守りください。

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって二段階に表示しています。

- 
警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
- 
注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

警告

- 絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。
- 水をかけたり、湿気の多いところでは使用しないでください。
- 乳幼児が触れたり、手の届くところに放置しないでください。
- 濡れた手で抜き差ししないでください。
- 無理な力を加えたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。
- 火気に近づけないでください。

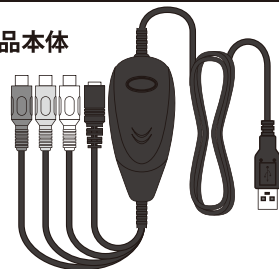
注意

- ケーブルを布などで覆わないでください。
- ケーブルをUSBポートに長時間差したままにしないでください。
- コネクタを中途半端に差し込んだ状態では使用しないでください。
- 接続の際には、コネクタの向きを確認して正しく接続してください。
- ケーブルの接続をはずす場合は、コネクタをしっかりと持って、ケーブルに負担が掛からないようにしてください。ケーブルが断線・半断線して、機器の破損の原因になります。

ご使用の機器のメモリーデータが喪失・破損した場合、当社ではその内容の保証・復元はできません。大切なデータはバックアップをおとりください。

●梱包内容

製品本体



CD-ROM



収納しているスリーブには、ソフトウェアのシリアルナンバーが記載されています。紛失しますと再発行できませんので大切に保管してください。

本取扱説明書



●主な仕様

インターフェース	USB2.0 Aタイプコネクタ(ケーブル長 約70cm)
入力端子	映像 コンボジットビデオ: RCAジャック(黄) S端子ビデオ(ミニDIN 4ピン)
	音声 RCAジャック(L/R各1)(白/赤)
入力映像方式	NTSC(カラー)
記録フォーマット	映像画素数px 7種類の形式から選択でき、その形式によって、320X240~1280X720
	映像作成形式 DVD: ビデオフォーマット HD: ASF, AVI, MP4, MPEG1, MPEG2, QTMOV, WMV
	サンプリング周波数 44.1KHz
本体材質	ABS
質量	約60g(ケーブル・コネクタ含む)
電源	USBバスパワー(DC5V)
消費電流	300mA以下
使用温度	0~40° C
使用湿度	30~90%(結露なきこと)
使用ソフトウェア	ArcSoft ShowBiz / TotalMedia Studio

●パソコンの動作環境

CPU	Pentium4以上
メモリー	512MB以上
空きディスク容量	1GB以上(作成するファイル/DVDの容量以上の容量が必要です)
グラフィックカード	DirectX9.0以上に対応した機器
CD/DVDドライブ	インストール用及びDVD書き込み用
OS	Windows Vista/7/8/10

著作権について

放送やビデオ・DVD・ブルーレイディスク・その他の録画物の映像作品は、著作権法により保護されています。従ってそれらから録画したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

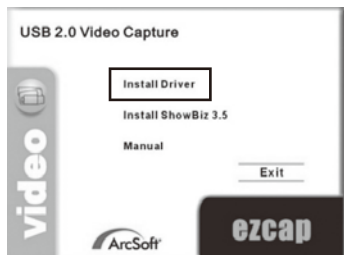
使用上のご注意

市販のビデオ・DVD・ブルーレイディスクなど、コピーガードがかかった映像は録画できません。使用するパソコンに、同様のTV機能やビデオキャプチャ機能があると、動作しない場合があります。本製品で、パソコンのハードディスクに作成できる映像形式は7種類ありますが、それぞれに対応したソフトウェアがパソコンに無い場合、作成・再生はできません。

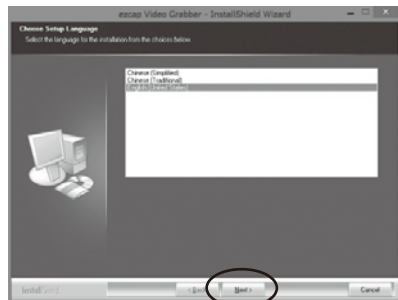
●ドライバーのインストール

ここでは、OSがWindows8.1の場合におけるインストール方法を記載します。他のOSでは、表示など記載が異なる場合がありますので、ご了承ください。必ず、本製品をパソコンに接続する前にインストールしてください。

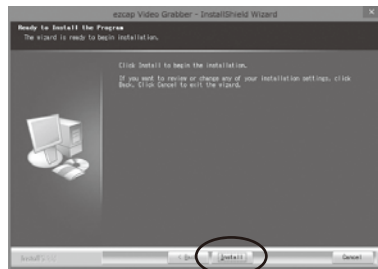
- 1.付属のCD-ROMをCDドライブにセットします。自動的にCD-ROMにあるファイルが表示されます。自動的に表示されない場合は、CD(DVD)ドライブを開いて、「Autorun」のアプリケーションのアイコンをダブルクリックして実行してください。下図の画面になりましたら、その中の「Install Driver」をクリックします。



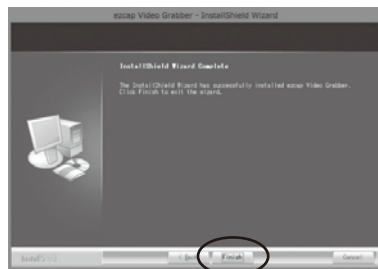
- 2.下図の画面になりましたら、「English」を選択し、「Next」をクリックします。



- 3.下図の画面になりましたら、「Install」をクリックします。



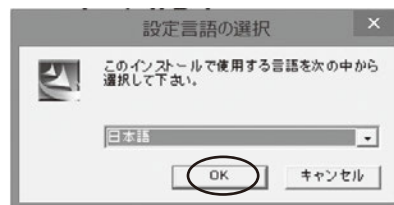
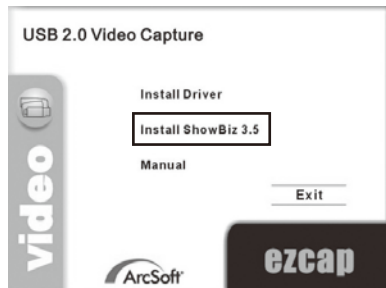
- 4.下図の画面になりましたら「Finish」をクリックします。



- 5.以上でドライバーのインストールが完了です。一度、パソコンを再起動してください。再起動後、パソコンのUSBポートに本製品のUSBコネクタを接続します。パソコンが本製品を認識したら、引き続きキャプチャソフトをインストールします。

●キャプチャソフトウェアのインストール

- 1.本製品をパソコンに接続した状態で、再びCDドライブの「Autorun」のアプリケーションをダブルクリックします。下図の「Install Show Biz3.5」をクリックするとインストールが開始されます。
- 2.下図のように、セットアップに使用する言語の選択画面が表示されます。選択をして「OK」をクリックします。



3. 下図の画面になりましたら、「次へ」をクリックします。



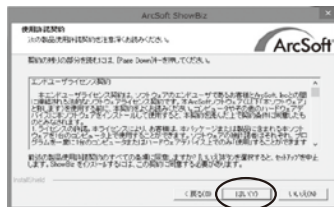
5. 下図の画面の、ユーザー名(任意の名前)とシリアルナンバー(CD-ROMのスリーブの裏にシールで貼付されています)を入力し、「次へ」をクリックします。



7. 下図の画面になりましたら、「次へ」をクリックします。



4. 下図の画面の使用許諾契約の内容をご確認いただき、「はい」をクリックします。



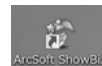
6. 下図の画面の、本ソフトのインストール先の設定画面が表示されます。「次へ」をクリックします。



8. 下図の画面になりましたら、「完了」をクリックします。キャプチャソフトウェアのインストールが完了します。ここで、パソコンを再起動します。



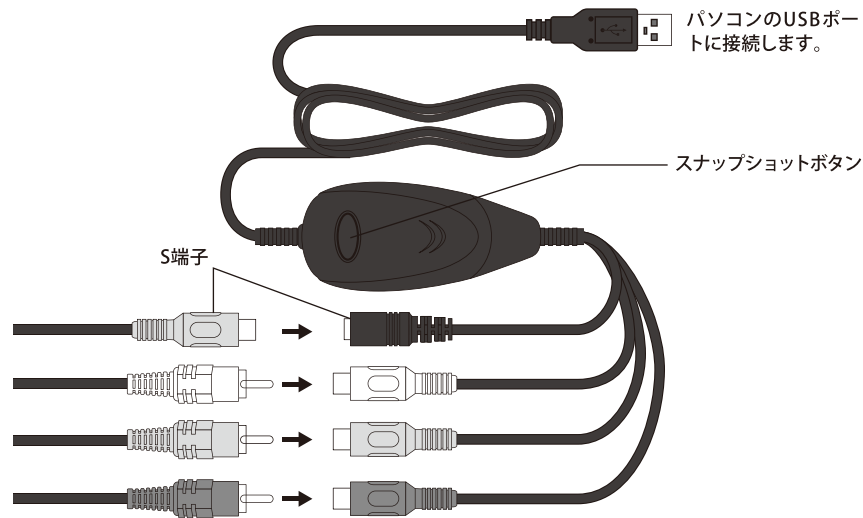
デスクトップ上に右図アイコンが表示されます。



●本製品とビデオデッキなどの接続

ご使用のビデオデッキなどの映像・音声出力のケーブルは、通常テレビに接続されていますが、テレビ側の接続を外して、本製品のS端子・RCAコネクタ(メス)に接続します。RCAコネクタは同じ色同士で接続します。(黄色がコンポジットビデオコネクタ)

ビデオデッキ側にS端子がない場合は、本製品のS端子の接続はしません。S端子がある場合は、通常S端子同士接続し、黄色の映像RCAコネクタには接続しません。



◎1本のビデオをデジタル化し、DVD/ハードディスクに記録する

キャプチャソフトウェアの起動

前項で、パソコン画面上に現れた「ArcSoft ShowBiz」のアイコンをダブルクリックしますと、キャプチャソフトウェアが起動し、右図の初期画面が表示されます。その中にあります、3つの「キャプチャ」「編集」「作成」で、データを作成します。ビデオデッキにも電源が入っており、接続されていることを確認して「キャプチャ」をクリックしてください。右下のような画面になります。



1. 「キャプチャ」

ここで、図のようにキャプチャ機器の選択(取得元)などの設定をします。

取得元: ezcap Video Grabber
ビデオ入力: S-ビデオ、またはコンポジット ビデオ(S端子がない場合)
オーディオデバイス: Audio Pin Source

デバイス設定
ビデオ デコーダー: NTSC_M_
画像の調整: 必要に応じて調整可能です。



「キャプチャ」(続き)

ここでの保存方式は、MPEG2固定で、保存先はインストール時に指定のフォルダになります。(通常はパソコンのビデオフォルダになります)ビデオなどを再生しますと、映像が表示され、パソコンから音声が出力されます。

*プレビュー映像がフレームに正しく納まっていない場合、画面の画素数が合っていない可能性があります。パソコンの画面の画素数を変更・調整してみてください。

映像が表示されている状態で、キャプチャ開始ボタンをクリックしますと、キャプチャが始まり、MPEG2方式(ムービークリップ)でファイルが保存されます。キャプチャ中は、赤色の「キャプチャ」が緑色の「停止」に変わります。ビデオ再生が終了しましたら、その「停止」をクリックしますとキャプチャが停止し、下記のような編集画面になります。

2. 「編集」

右図の画面の再生ボタンをクリックしますと、サムネイルがここに表示されます。プレビュー映像が再生されます。(スナップショットは再生はできません)プロジェクトとして保存する場合は、サムネイルをストーリーボードにドラッグ&ドロップします。

*キャプチャ中にスナップショットボタンをクリックするか、本体のボタンを押しますとその時の画像が撮られ、表示されます。



キャプチャを開始した映像の最初の画像がここに表示されます。

3. 「作成」

ここでは、特に編集をせずそのままDVDに記録する方法を説明します。右上の画面で、「作成」をクリックしますと、右図のようになります。

3.1 DVDに保存する。

ストーリーボードに保存されたプロジェクトは、DVDに保存できます。「DVDディスクの作成」をクリックしますと「現在のプロジェクトを保存しますか?」と聞いてきますので、「はい」をクリックしてください。



通常は保存先をパソコンの「ビデオ」とし、保存名は任意に設定し、「保存」をクリックしてください。
TotalMedia Studio というソフトウェアが起動し、右下のような画面になります。



【テキストの編集】

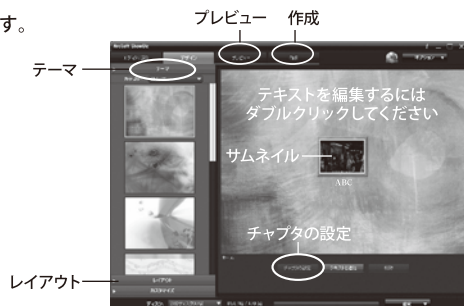
ここで、DVDを作成する前にテキストを編集します。

テーマの選択

右図の左側にあるテーマ画像中から任意の画像を選択し、ダブルクリックしますと、その画像がテキストの背景になります。テーマには、8つのカテゴリーがあり、任意のものを選んでください。ただし、モーションメニューには対応しておりません。

レイアウトの選択

レイアウトは、サムネイルのレイアウトとサムネイルのフレームの選択があります。



画面上部にあります、「プレビュー」をクリックしますと、メニュー画面の確認ができます。テキストの編集が完了したら、画面上側の4つのタブの内、右端の「作成」を選択しクリックしてください。右図のような画面になります。

作成するディスクのラベル名:

必要に応じて書き換えてください。

書き込みに使用するドライブ:

DVD

書き込み速度:

記録するDVDに合わせた速さを設定します。下の「録画するDVDの容量」と「録画する画質」を選択(通常変更なしでそのまま)し、「書き込み」をクリックします。「現在のプロジェクトを保存しますか?」と表示されますので、「はい」をクリックして任意の名前で保存してください。

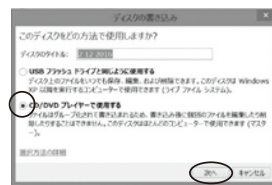


右図の画面のように、ディスクの使用方法を聞いてきますので、「CD/DVDプレイヤーで使用する」を選択し、「次へ」をクリックします。

DVDへの録画が始まります。

終了しますと、「ディスクの作成が完了しました。」と表示されます。「OK」をクリックしてください。最後に終了してウィンドウを閉じてください。

今録画したDVDをセットして再生し、内容をご確認ください。



3.2 ハードディスクに保存する。

右図の作成画面で、2番目の「ファイルの作成」をクリックします。



右図のような画面になります。

「種類」「形式」「品質/速度」などから、いくつかのパターンを選択できます。それぞれ、プルダウンの表示から選択してください。なお、どのパターンが最適かは、保存するパソコンや再生する機器によりますので、数十秒程度の短いファイルを作成し、実際に試してみることをお勧めします。「品質/速度」については、右横の「設定」をクリックしますと詳細の設定ができます。パターンの選択が決まりましたら、保存先を決定しますが、保存先の右横の「参照」をクリックし、場所やフォルダ名を指定してください。

「開始」をクリックします。

保存が開始され、終了しますと「作成に成功しました」と表示されますので、「OK」をクリックしてください。



●複数のビデオをデジタル化し、1つの映像データに統合する

アナログのビデオカメラで撮影したビデオテープなど、複数のアナログデータを、関連する映像ごとにまとめる編集をして、デジタル化することができます。また、その時に、映像の切れ目に様々な効果(トランジション)を入れたり、映像そのものにボカすなどの効果を入れて編集することができます。

7ページからの「キャプチャ」で説明しましたように、アナログ映像を1点ずつキャプチャします。それらを、下のストーリーボードにドラッグ&ドロップします。(右図)

トランジション

映像と映像の切れ間に、効果を入れることができます。右画像の左上部にあります「トランジション」のタブをクリックします。

トランジション

ストーリーボード

右図の画面のようになります。
現れた種々のトランジションから任意のものを選択し、下のストーリーボードにある画像と画像の間の [] にドラッグ&ドロップします。
これでその切れ目に特殊効果が入ります。

※トランジションのマークが選択したマークに変わります。

効果

また、それぞれの映像に様々な効果を加えることができます。右図の画面で「効果」をクリックしてください。

効果

目的や好みによって、種々の「効果」から選び下のストーリーボードにある映像データに、ドラッグ&ドロップすると、その映像に効果が現れます。

テキスト(Ta)

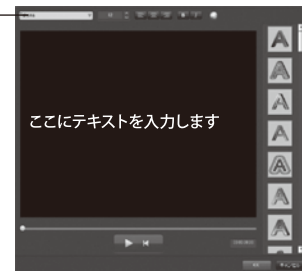
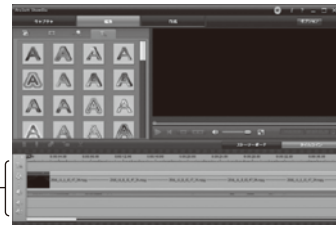
映像の中に、タイトルなどの文字を入れることができます。編集画面で、「Ta」と表示されたタブをクリックすると、下図(左)の画面のように表示されます。好みのテキストを選び、下のストーリーボードにある映像のサムネイルにドラッグ&ドロップします。その時、ストーリーボードは、「タイムライン」に切り替わります。(下図(右))と同時に、更にその下の図のように、テキストの入力画面になります。

テキスト
(Ta)

タイムライン

設定

画面の任意の位置をクリックしますと、その場所でテキストを入力できます。
また、そのテキストは、ドラッグ&ドロップで動かして位置を決めることができます。
また、フォントや文字の大きさ・色など、画面上部で設定できます。
なお、選択したテキストの種類は改めてここで変更できます。作成したテキストは、右上図のタイムラインにドラッグ&ドロップすることで入れられます。また、入れたい場所と長さを調整できます。最後に右下の「OK」をクリックします。



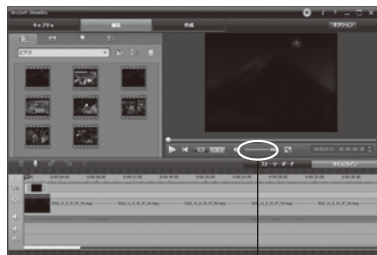
タイムラインのテキスト部に挿入したテキストは、そのテキストの開始位置と長さを調節できます。編集が終了しましたら、「メディアファイル」をクリックしますと右下図になります。

メディアファイル



テキスト

ここで、タイムラインの映像部分をクリックした後、「プロジェクト全体」をクリックします。今までの編集で、複数のビデオが1つになり、また、トランジションや効果・テキストが入った状態になります。「再生」をクリックしますと、プレビュー映像が再生されます。



プロジェクト全体

このままこの映像をDVDまたはハードディスクに保存する場合は、「作成」をクリックします。9ページの【テキストの編集】以降に従ってデータが作成されます。

●1本に統合したデータにチャプタを付けて分ける

上記のように、編集し1本に統合された映像データに、チャプタ(区切)を付けることができます。そうすることによって、途中から見たい時などに便利です。上記で、「作成」をクリックしたあとの画像が右図です。

【チャプタの設定】

ここで、画面上のサムネイルを選択した後、「チャプタの設定」をクリックします。

次ページのようになります。

チャプタの設定



「チャプタメニューボタンの作成」にチェックを入れ、「再生」をクリックしてプレビューを再生します。区切りたい所で、「再生」から「一時停止」に変わったボタンをクリックして一時停止し、「チャプタの設定」をクリックします。同様に、必要な分、チャプタを設定し、最後に「OK」をクリックします。

再生/一時停止



チャプタメニューボタンの作成

OK

例として、3つのキャプチャを設定し、4つの映像に分けた場合、下図(左)の画面のようにチャプタが作成されます。

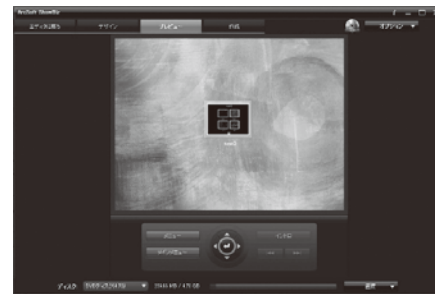
「プレビュー」をクリックして確認します。

下図(右)の画面のように、ひとつのサムネイルの中に4つのサムネイルが入ります。そのサムネイルをクリックしますと、4つのサムネイルが表面に現れ、選択できます。下のホームアイコンをクリックしますと、4つのサムネイルはまた1つ中に入ります。「テキストの追加」をクリックしますと、テキストに色々と文字を追加することができます。

プレビュー



テキストの追加

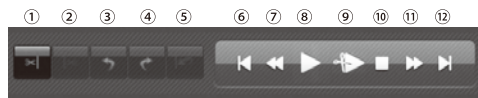


●不要な部分をカット（トリミング）する

不要な部分をトリミングすることができます。
ストーリーボードのサムネイルをクリックし、選択した後、ストーリーボードにドラッグ&ドロップします。
ハサミのマークの「マルチトリム」をクリックします。



下図のようになります。
操作ボタンについて右図にて説明します。

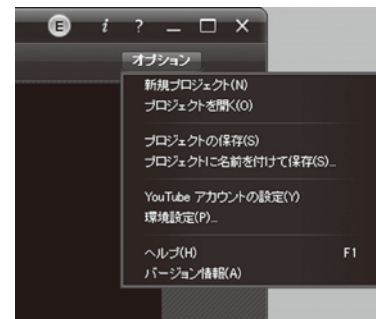


上の12個のボタンを左から順に説明します。

① マークイン	トリミング開始位置
② マークアウト	トリミング終了位置
③ 元に戻す	開始と終了設定後、元に戻します
④ やり直し	元に戻した設定をもう一度設定します
⑤ リセット	設定したトリミングをリセットします
⑥ 前のシーン	最初のシーンに戻ります
⑦ 前のフレーム	1フレーム戻ります
⑧ 再生	再生します
⑨ トリミングしたシーンを再生	トリミング部を飛ばして再生
⑩ 停止	再生を停止します
⑪ 次のフレーム	1フレーム進みます
⑫ 次のシーン	エンドまで飛ばします

●編集集中のプロジェクトの保存について

保存したプロジェクトの読み込みは、画面右上の「オプション」をクリックし、プルダウンの表示の中の「プロジェクトを開く」をクリックして行います。また、プロジェクトの保存については、プルダウンの表示の中の「プロジェクトの保存」にて行います。



●故障かなと思ったら

こんなときは	ここをお確かめください
映像が表示されない	本製品が正しく接続されていますか？ ビデオなどの再生機器の出力ケーブルが正しく当製品の入力コネクタに接続されているかご確認ください。 また、再生機器をテレビに接続した場合は映りますか？ 9ページの「キャプチャ」で、取得元やビデオ入力为正しく設定されていますか？
音声聞こえない	本製品が正しく接続されていますか？ ビデオなどの再生機器の出力ケーブルが正しく当製品の入力コネクタに接続されているかご確認ください。 また、再生機器をテレビに接続した場合は聞こえますか？ 9ページの「キャプチャ」で、取得元や音声入力が正しく設定されていますか？ パソコンのボリュームが小さくなっていたり、ミュートになっていませんか？
映像や音声不安定 (コマ落ち・音飛びなど)	パソコンの性能不足の可能性があります。 仕様をご確認ください。また、映像処理中に無関係のUSB機器を外したり、他のアプリケーションの操作をやめてみてください。
映像が暗くなったり 明るくなったりする またストライプが入る	コピーガードが入ったビデオをダビングするとそのような症状になります。
DVDが作成できない	ご使用のDVDドライブが書き込み対応であるか、また、DVDが書き込みできるものか、ご確認ください。 また、DVDドライブの故障や、DVDの不具合も考えられます。

*当製品で使用するソフトウェア「ArcSoft ShowBiz」は、種々の設定や編集ができるようになっておりますが、当社ではその詳しい使用法はサポートしておりませんので、ご承知ください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 - 消耗または磨耗した部品、付属品の交換
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収書でも未記入項目の代用となります）
 - 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

（切りとり線）